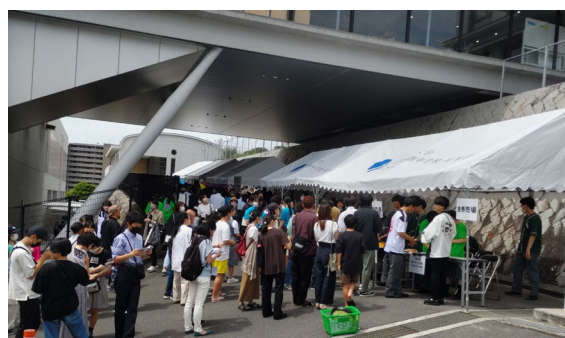




「お化け屋敷」には行列ができました。



模擬店の”金券販売”。13時頃には売り切れ？

一人ひとりが輝いた、文化祭

晴天に恵まれた6月24日(土)、文化祭が行われました。4年ぶりの一般公開ということで、保護者やご家族のみなさまを含めたくさんの方にご来校いただきました。後日、来校者数を集計したところ、何と約4,000の方が来校したということがわかりました。ご来校いただき、本当にありがとうございました。

文化祭に先立って、22日(木)には校内「ステージ発表」(文化部の発表)が行われました。その開会で、「いよいよ文化祭です。さて文化祭で大切なこと、みなさんに求められることは何ですか？」と生徒に問い、高校3年生の女子生徒に指名したところ、その生徒が「お互いにリスペクトすることです！」と答えてくれました。「素晴らしい、その通りですね。お互いにリスペクトし、いい文化祭になるように」と発して始まりました。

文化祭当日(24日)の開会式でも同様のことを生徒に伝えました。「今日は4年ぶりに一般開放の文化祭です。たくさんのお客様が来校されます。一昨日の『お互いにリスペクトする』を覚えていますよね。リスペクトとは、大切にすること、想いを持って接するという意味です。いつも通り、笑顔で丁寧な挨拶を心がけ、来校される方を迎えましょう」と生徒に話しました。

私は文化祭、体育祭など、“祭り”と名がつく行事は中高生や学生の頃も、もちろん教員になっても黙っては居られない性格です。この日も校内を隈なく歩き回りました。中学生のアイデア溢れる展示に感心し、高校生のゲームは盛況だったので参加できず、模擬店の金券を購入できなかったので賑わいの様子を確認して回り、そして、避けなかった「お化け屋敷」にはとうとう入る羽目に。なかなか怖かったですよ。生き生きとした生徒の表情、無心になって取り組んでいる生徒の様子はとても感動的なものでした。

来校されたみなさまにご満足いただけたのかどうか、本校生徒の対応はどんな様子なんだろうかなどと思いながら校内を巡り、また、終了時間近く、帰られるみなさまに正門付近でお礼を述べながら挨拶をしていると、たくさんの方からお声を掛けていただきました(声を掛けさせていただいた方もおりますが)。

「やっと学校を開放できてよかったですね。生徒さん一人ひとりが本当にはつらつとしていますね。協創の生徒の元気な様子を見られてよかったです」とは本校の保護者(お父さん)。

「生徒さん、とても優しいですね。私が行きたい場所を尋ねたら、『ご案内します』って言って、そこまで連れて行って下さったんですよ。とても親切にさせていただいて本当に嬉しかったです」と生徒のご家族の方。

「立派な学校ですねえ。建物は大学並みだし、生徒は活気があるし、よく挨拶するし。素晴らしいですね」とご近所のご高齢の方。

「羨ましかったです。みんな楽しそうにしています。キラキラ輝いていました。”お化け屋敷”なんてうちの学校じゃ考えられんし。自由さがとてもいいですね」とは他校の女子生徒2人組。

「うちの学校と違って文化の匂いがプンプンしました。文化部が頑張っているって感じがいいですね。こんなにたくさんの方が集まる文化祭って初めて見ました。ありがとうございました」と言ってくれたのは他校の男子高校生3人組。

「先生、勘弁してや。私らの時とは全然違うじゃん。ずる過ぎるよー！」は卒業生の弁。

お褒めの言葉をたくさんいただきました。しかし、この限りではない場面も垣間見られました。すべては反省点として次年度への申し送りです。さらに生徒が輝けるようにするために、我々は一層の支援をしていきたいものです。